

宇和島市環境報告書

2022（令和4）年度版

2024（令和6）年3月

宇和島市

目 次

1. 宇和島市の環境行政について.....	1
1.1 宇和島市環境基本条例.....	1
1.2 宇和島市環境基本計画.....	2
2. 環境の現況.....	3
2.1 大気環境.....	3
2.2 騒音.....	4
2.3 振動.....	6
2.4 水質.....	6
2.5 悪臭.....	11
2.6 有害化学物質.....	12
2.7 廃棄物処理の状況.....	13
2.8 美化対策・海洋ごみ対策.....	17
2.9 地球温暖化への取組.....	17
2.10 その他.....	21
3. 重点施策の目標に対する実施状況.....	22
4. 不法投棄・ポイ捨て防止を目的とする児童ポスターコンクールの実施.....	23

1. 宇和島市の環境行政について

1.1 宇和島市環境基本条例

2020年12月に宇和島市環境基本条例を制定し、2021年1月から施行しました。同条例では、市の環境行政における基本理念や各主体の責務、施策の基本方針等について次のように定めているほか、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、「宇和島市環境基本計画」を定める旨が規定されています。

＜環境の保全及び創造についての基本理念＞（条例第3条）

- ①環境の保全及び創造は、市民が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受するとともに、これが将来の世代に継承されるよう適切に行われなければならない。
- ②環境の保全及び創造は、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会が構築されることを目的として、すべての者が連携し、公平な役割分担の下に自主的かつ積極的に行われなければならない。
- ③地球環境の保全は、市、市民及び事業者が自らの課題としてとらえ、それぞれの施策、日常生活及び事業活動において積極的かつ着実に推進されなければならない。

＜施策の基本方針＞（条例第8条）

市は、環境の保全及び創造に関する施策を策定し、及び実施するに当たっては、基本理念にのっとり、次に掲げる基本方針に基づき、各種の施策相互の有機的な連携を図りつつ総合的かつ計画的に行わなければならない。

- ①市民の健康を保護し、及び生活環境を保全するため、大気、水、土壌その他の環境の自然的構成要素を良好な状態に保持すること。
- ②豊かな自然環境を継承するため、生態系の多様性の確保を図るとともに、海をはじめ、森林、農地、水辺等の多様な自然環境を地域の自然的社会的条件に応じて適切に保全すること。
- ③良質な生活環境を確保するため、人と自然の豊かなふれあいを保つとともに、歴史的文化的資源等の地域の特性を生かした良好な景観の形成及び災害に強いまちづくりの推進に努めること。
- ④地球環境の保全に資する環境への負荷の少ない循環型社会を構築するため、廃棄物の減量及び適正処理並びに資源及びエネルギーの有効利用を推進すること。

1.2 宇和島市環境基本計画

「宇和島市環境基本計画」は、2020年12月に制定された「宇和島市環境基本条例」に基づき、行政、市民、事業者が一体となって環境の保全と創造に資するための環境施策を総合的・計画的に推進していくため、2022年3月に策定されました。

「宇和島市環境基本計画」では、望ましい将来像とその実現に向けた基本方針、重点施策について次のように定めています。重点施策の目標に対する実施状況は後述のとおりです。

【望ましい将来像】

「美しい自然と共存し、快適に住み続けられるまち」の実現

【基本方針】

- ①自然環境の継承 <自然豊かなまちづくりの推進>
- ②生活環境の保全 <住みよいきれいなまちづくりの推進>
- ③快適環境の確保 <快適なまちの形成>
- ④廃棄物対策 <ごみの減量と適正処理>
- ⑤地球環境の保全 <環境負荷を減らす社会の構築>
- ⑥環境啓発 <環境学習と市民への啓発>

【重点施策】

- ①分別の徹底とリサイクルの推進による廃棄物削減
- ②海洋プラスチックごみへの対策
- ③食品ロスの削減
- ④行政における再エネ、省エネ、EV等の率先導入
- ⑤環境教育・環境啓発

2. 環境の現況

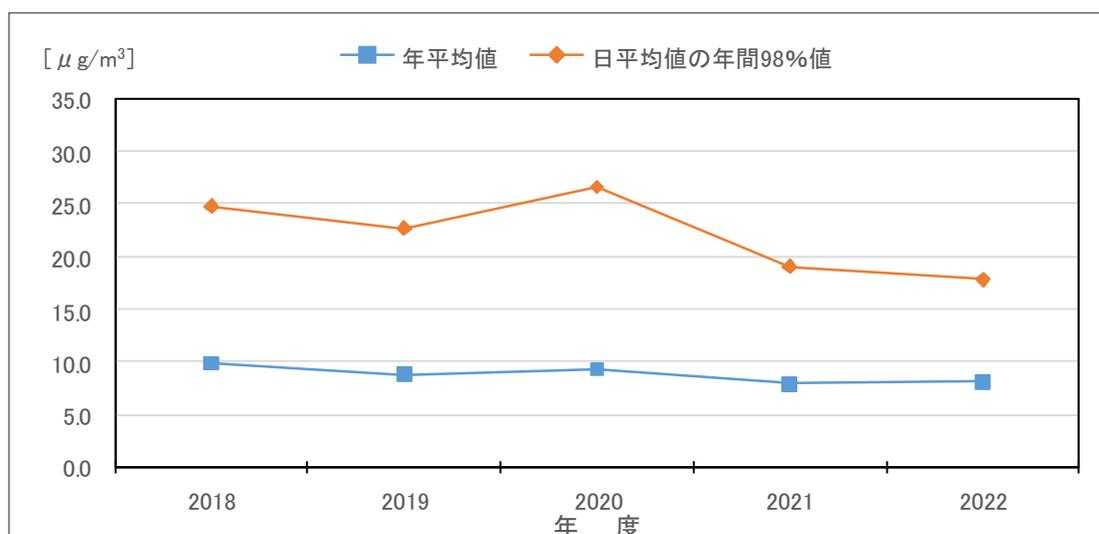
2.1 大気環境

本市内における大気汚染常時監視測定局は、愛媛県が南予地方局に設置した宇和島測定局の1局であり、PM2.5が測定されています。愛媛県環境白書によると、宇和島測定局における過去5年間のPM2.5測定値は以下のとおりで、環境基準値を満足する結果となっています。

■宇和島測定局におけるPM2.5の測定値

年度	有効測定日数 [日]	年平均値 [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	日平均値の 年間98%値 [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を 超えた日数とその割合		環境基準 達成状況
				[日]	[%]	
2018	363	9.9	24.8	1	0.3	○
2019	361	8.8	22.7	0	0	○
2020	362	9.3	26.6	3	0.8	○
2021	362	7.9	19.1	0	0	○
2022	362	8.1	17.8	1	0.3	○

出典：愛媛県ホームページ 環境白書



■宇和島測定局におけるPM2.5の経年変化

■大気汚染に係る環境基準（微小粒子状物質）

物質	環境上の条件
微小粒子状物質 (PM2.5)	1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

2.2 騒音

本市では5年ローテーションで自動車騒音の調査を行っています。5年間で8地点において行われた自動車騒音調査では、以下のとおり、いずれの路線においても環境基準達成率は100%となっています。

■宇和島市内における自動車騒音の調査結果

年度	道路名	調査地点	環境基準 類型	等価騒音レベル [dB]		環境基準 達成率 [%]
				昼間	夜間	
2018	一般国道 320 号	宇和島市柿原	B	昼間	68	100
				夜間	60	100
	広見三間宇和島線	宇和島市高串	C	昼間	66	100
				夜間	55	100
2019	無月宇和島線	宇和島市坂下津	C	昼間	64	100
				夜間	55	100
	広見吉田線	宇和島市三間町宮野下	B	昼間	61	100
				夜間	52	100
2020	一般国道 320 号	宇和島市栄町港	C	昼間	62	100
				夜間	56	100
	宇和島下波津島線	宇和島市寄松	B	昼間	66	100
				夜間	59	100
2021	宇和島港線	宇和島市弁天町	C	昼間	59	100
				夜間	53	100
2022	吉田宇和島線	宇和島市住吉町	B	昼間	59	100
				夜間	51	100

出典：宇和島市調査結果

■騒音に係る環境基準（道路に面する地域及び幹線交通を担う道路に近接する空間）

【道路に面する地域】

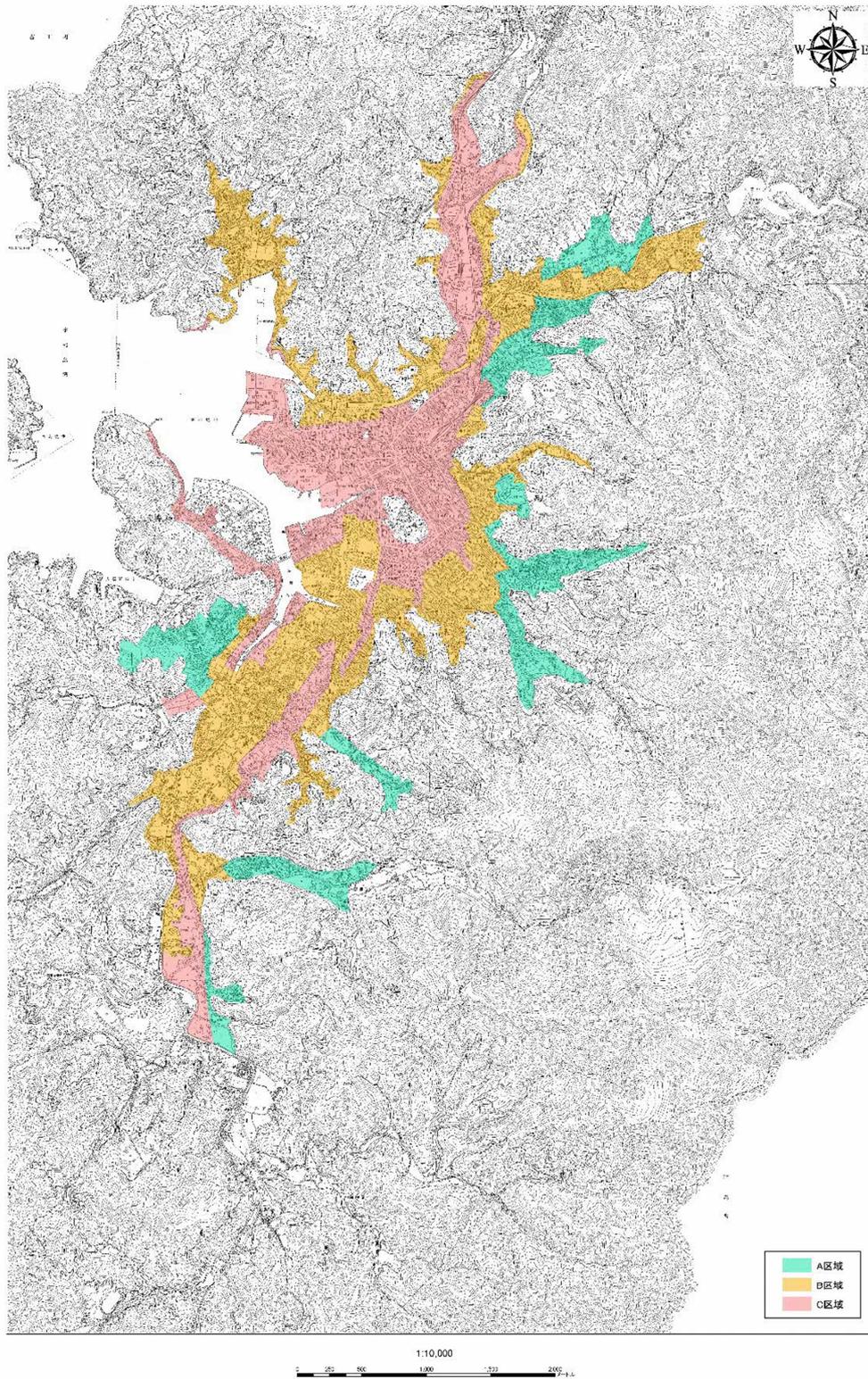
地域の区分	基準値	
	昼間	夜間
A 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域	60 デシベル以下	55 デシベル以下
B 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域及び C 地域のうち車線を有する道路に面する地域	65 デシベル以下	60 デシベル以下

【幹線交通を担う道路に近接する空間】

基準値	
昼間	夜間
70 デシベル以下	65 デシベル以下

備考) 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準(昼間にあっては 45 デシベル以下、夜間にあっては 40 デシベル以下)によることができる。

騒音環境基準類型指定図(宇和島)



■ 宇和島市内における騒音環境基準類型指定図

2.3 振動

本市では近年、振動に関する大きな苦情やトラブルは発生しておりませんが、今後とも、大規模施設の建設工事の際など、振動により生活環境への影響が懸念される場合は、法令に基づく勧告・命令を通じて、適宜事業者等に対し改善を求めていくこととしています。

2.4 水質

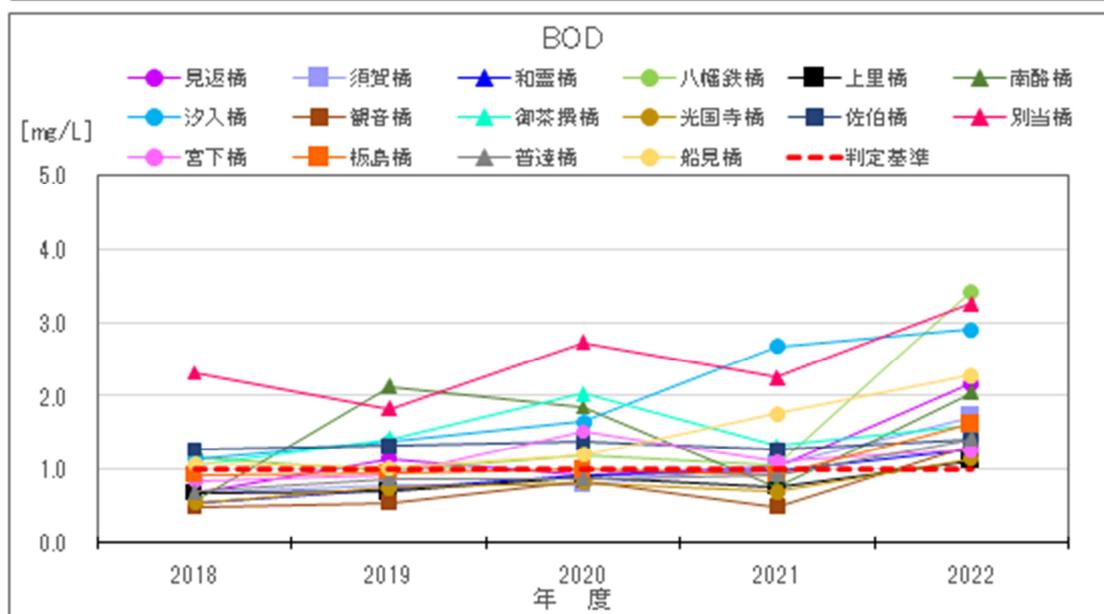
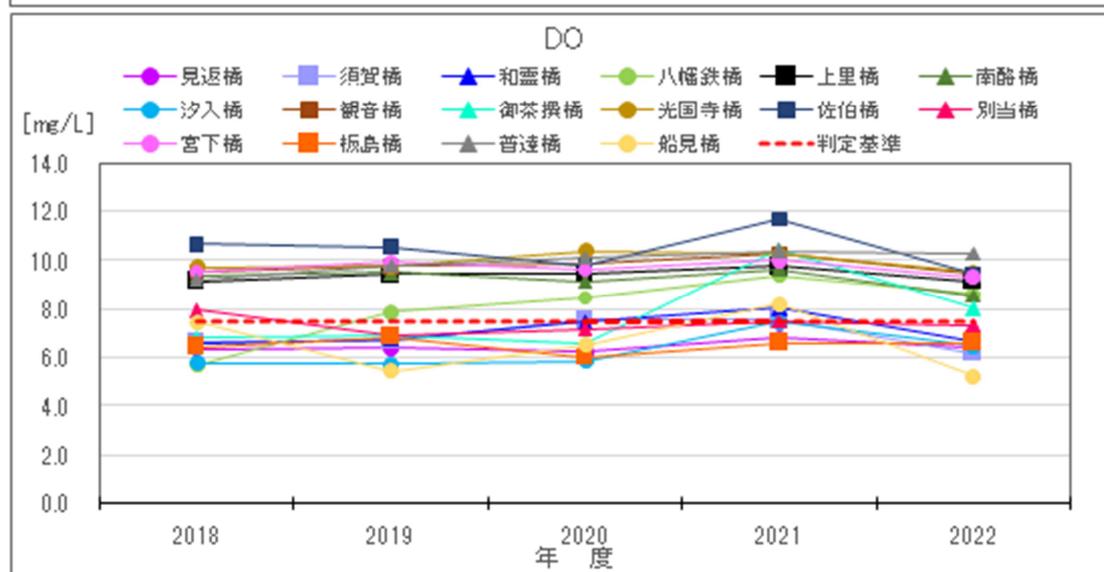
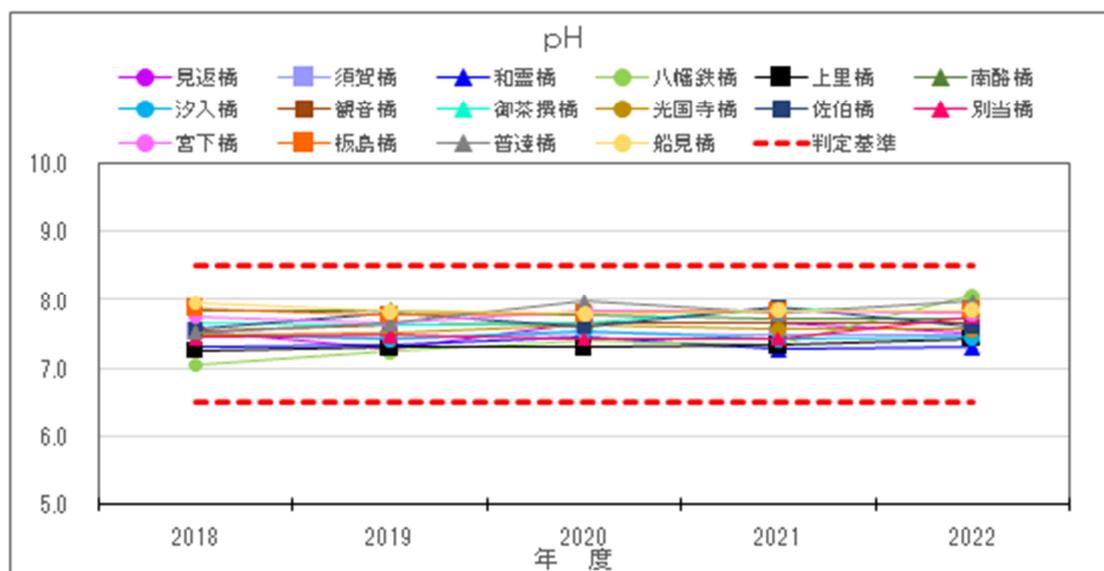
(1) 河川

本市では以下に示した採水範囲において、公共用水域水質調を行っています。2022年度の結果は以下のとおりで、BODで判定基準を超過する地点が多くなっていますが、その他の項目は概ね判定基準を満足する結果となっています。

■宇和島市における公共用水域の水質調査結果

区分	項目		pH (水素イオン濃度)		DO (溶存酸素量) [mg/L]		BOD (生物化学的酸素要求量) [mg/L]	COD (化学的酸素要求量) [mg/L]	SS (浮遊物質) [mg/L]	
	判定基準		6.5以上8.5以下		7.5mg/L 以上		1mg/L以下	-	25mg/L以下	
地点			2022		2022		2022	2022	2022	
番号	水系	採水地点	最小～最大	年平均	最小	～ 最大	年平均	年平均	年平均	
1	須賀川	見返橋	7.2 ~ 7.8	7.5	5.9	~ 6.9	6.5	2.2	2.9	6.3
2		須賀橋	7.4 ~ 7.7	7.5	4.7	~ 7.6	6.2	1.7	2.1	1.8
3		和霊橋	7.2 ~ 7.4	7.3	6.0	~ 7.1	6.7	1.3	2.2	1.8
4		八幡鉄橋	7.3 ~ 8.8	8.1	7.5	~ 10.0	8.7	3.4	6.2	4.0
5		上里橋	7.2 ~ 7.9	7.4	8.1	~ 10.3	9.1	1.1	2.3	1.0
6	高串	南酪橋	7.6 ~ 7.9	7.7	8.2	~ 8.8	8.6	2.1	3.4	4.5
7	畑枝	汐入橋	7.3 ~ 7.6	7.5	5.8	~ 7.0	6.5	2.9	3.4	1.8
8	辰野川	観音橋	7.6 ~ 7.7	7.7	7.9	~ 10.8	9.4	1.3	1.5	1.0
9		御茶撰橋	7.7 ~ 7.9	7.8	6.3	~ 10.0	8.1	1.6	2.0	3.0
10	神田川	光国寺橋	7.5 ~ 7.6	7.6	7.9	~ 11.1	9.6	1.2	1.9	3.7
11		佐伯橋	7.5 ~ 7.8	7.6	7.7	~ 10.8	9.4	1.4	2.8	3.5
12	内平	別当橋	7.3 ~ 8.6	7.8	3.4	~ 12.4	7.3	3.3	5.8	6.8
13	来村川	宮下橋	7.7 ~ 8.0	7.8	8.7	~ 9.8	9.3	1.3	2.9	3.0
14		板島橋	7.8 ~ 7.9	7.9	6.3	~ 7.1	6.6	1.6	2.3	4.0
15	薬師	普達橋	7.8 ~ 8.3	8.0	8.7	~ 11.4	10.3	1.4	2.8	4.0
16	広見	船見橋	7.7 ~ 8.0	7.9	4.3	~ 6.3	5.3	2.3	2.4	4.3

出典：宇和島市調査結果



■ 宇和島市における公共用水域の水質経年変化 (1)



■ 宇和島市における公共用水域の水質経年変化 (2)

■ 水質汚濁に係る環境基準（生活環境の保全に関する環境基準/河川）

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数
AA	水道 1 級 自然環境保全 及び A 以下の欄に掲げ るもの	6.5 以上 8.5 以下	1mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	20CFU/ 100mL 以下
A	水道 2 級 水産 1 級 水浴 及び B 以下の欄に掲げ るもの	6.5 以上 8.5 以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	300CFU/ 100mL 以下
B	水道 3 級 水産 2 級 及び C 以下の欄に掲げ るもの	6.5 以上 8.5 以下	3mg/L 以下	25mg/L 以下	5mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL 以下
C	水産 3 級 工業用水 1 級 及び D 以下の欄に掲げ るもの	6.5 以上 8.5 以下	5mg/L 以下	50mg/L 以下	5mg/L 以上	—
D	工業用水 2 級 農業用水 及び E の欄に掲げるもの	6.0 以上 8.5 以下	8mg/L 以下	100mg/L 以 下	2mg/L 以上	—
E	工業用水 3 級 環境保全	6.0 以上 8.5 以下	10mg/L 以下	ごみ等の浮遊 が認められな いこと。	2mg/L 以上	—

(2) 海域

愛媛県では、水質汚濁防止法の規定に基づき策定した公共用水域及び地下水の水質測定計画に基づき、水質の常時監視等を実施しており、本市の海域においても水質測定が行われています。愛媛県環境白書によると、2022年度における測定結果は以下のとおりで、全ての項目で環境基準値を満足する結果となっています。

■ 宇和島市内における海域の水質調査結果

区分	項目	基準 類型	pH (水素イオン濃度)	DO (溶存酸素量) [mg/L]			COD (化学的酸素要求量) [mg/L]	n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) [mg/L]	
			7.8 以上 8.3 以下	7.5mg/L 以上			2mg/L 以下	検出されないこと	
水質汚濁に係る 環境基準		B	7.8 以上 8.3 以下	5mg/L 以上			3mg/L 以下	検出されないこと	
地点		基準 類型	2021		2021		2021	2021	
水域	測定地点		最小	最大	最小	最大	年平均	75%値	
宇和島港	宇和島海域St-1	B	8.0	~ 8.2	6.4	~ 9.7	8.1	2.1	<0.5
宇和島港	宇和島海域St-2	B	7.9	~ 8.1	5.6	~ 9.2	7.5	2.1	<0.5
宇和海一般	吉田海域St-1	A	8.1	~ 8.2	7.1	~ 9.0	8.1	1.4	-
宇和海一般	吉田海域St-2	A	8.0	~ 8.2	6.3	~ 9.1	8.0	1.5	<0.5
宇和海一般	吉田海域St-3	A	8.0	~ 8.2	5.7	~ 8.9	7.9	1.6	-
宇和海一般	宇和島海域St-3	A	8.0	~ 8.2	6.4	~ 9.0	8.1	1.6	<0.5
宇和海一般	宇和島海域St-4	A	8.0	~ 8.2	6.5	~ 9.1	7.9	1.6	-
宇和海一般	宇和海津島海域St-1	A	8.0	~ 8.2	7.1	~ 9.0	8.1	1.5	-
宇和海一般	宇和海津島海域St-2	A	8.0	~ 8.3	6.7	~ 9.2	8.3	1.5	<0.5
宇和海一般	宇和海津島海域St-3	A	8.0	~ 8.4	6.4	~ 9.4	8.0	1.7	-
宇和海一般	宇和島海域St-5	A	8.0	~ 8.2	6.9	~ 8.9	8.0	1.1	-

出典：愛媛県ホームページ 公共用水域及び地下水の水質測定結果

■ 水質汚濁に係る環境基準（生活環境の保全に関する環境基準/海域）

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	化学的 酸素要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)
A	水産1級 水浴 自然環境保全及びB 以下の欄に掲げるもの	7.8 以上 8.3 以下	2mg/L 以下	7.5mg/L 以上	300CFU/ 100mL 以下	検出されない こと
B	水産2級 工業用水及びCの欄 に掲げるもの	7.8 以上 8.3 以下	3mg/L 以下	5mg/L 以上	-	検出されない こと
C	環境保全	7.0 以上 8.3 以下	8mg/L 以下	2mg/L 以上	-	-

2.5 悪臭

本市では、飼料製造に携わる事業所が立地している坂下津地区を中心に、臭気指数測定及び特定悪臭物質測定を行っています。市独自の規制区域等は設けておりませんが、今後も事業者に対して適切な対応を求めています。

■ 宇和島市内における臭気指数の測定結果

年度	分析項目	臭気測定結果		
		2021. 7 月	2021. 11 月	2022. 2 月
坂下津地区(1)	臭気指数	27	31	32
	臭気濃度	550	1300	1700
坂下津地区(2)	臭気指数	32	24	30
	臭気濃度	1700	230	970
坂下津地区(3)	臭気指数	10 未満	10 未満	-
	臭気濃度	10 未満	10 未満	-
宇和島港周辺	臭気指数	10 未満	10 未満	-
	臭気濃度	10 未満	10 未満	-

■ 宇和島市内における特定悪臭物質の測定結果

年度	分析項目	特定悪臭物質測定結果		
		2021. 7 月	2021. 11 月	2022. 2 月
坂下津地区(1)	アンモニア	0.19	0.43	0.28
	トリメチルアミン	0.19	0.055	0.03
	硫化水素	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
	硫化メチル	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
	二硫化メチル	0.0052	0.0007	0.0010
	メチルメルカプタン	0.0064	0.0053	0.0067
坂下津地区(2)	アンモニア	3	1.6	0.27
	トリメチルアミン	1.3	0.056	0.19
	硫化水素	0.0005 未満	0.0005 未満	0.070
	硫化メチル	0.0005 未満	0.0006	0.0005 未満
	二硫化メチル	0.0005	0.0024	0.0010
	メチルメルカプタン	0.011	0.0042	0.021

2.6 有害化学物質

本市では大気、河川におけるダイオキシン類調査が行われています。愛媛県環境白書によると、2021年度調査におけるダイオキシン類調査結果は以下のとおりで、いずれも環境基準を満足しています。

■ 宇和島市内におけるダイオキシン類調査結果

区分		採取場所	調査結果 [大気:pg-TEQ/m ³] [水質:pg-TEQ/L] [底質:pg-TEQ/g]	環境基準 [大気:pg-TEQ/m ³] [水質:pg-TEQ/L] [底質:pg-TEQ/g]
大気		保田	0.011	0.6 以下
水質	海域	吉田海域	0.089	1 以下
底質	河川	吉田海域	4.4	150 以下
土壌		祝森	0.20	1000 以下

2.7 廃棄物処理の状況

(1) 下水道・生活排水処理

本市では、1983年度から下水道事業に着手し、1997年度に旧宇和島市中心域において供用が開始されました。下水道人口普及率は21.2%と愛媛県内の市町村で2番目に低い普及率となっています。

また、生活排水処理については、し尿処理施設1施設が稼働しています。

■下水道事業の概要

行政人口 [人]	70,337	供用年度	1997 年度
処理区域内人口 [人]	14,937	処理区名	宇和島処理区
下水道処理人口普及率 [%]	21.2	処理区面積 [ha]	481.2
着手年度	1983 年度	処理場名	宇和島市浄化センター

出典：愛媛県ホームページ 下水道の整備状況および基本構想

■し尿処理施設の名称、処理能力等

事業主体	施設名称	処理能力 [kl/日]	竣工年月
宇和島地区広域事務組合	宇和島地区広域事務組合 汚泥再生処理センター	220	2015 年 7 月

出典：宇和島市一般廃棄物処理基本計画（2018年4月）

(2) 一般廃棄物処理施設

本市の一般廃棄物処理は、リサイクル施設1施設、ごみ焼却施設1施設、最終処分場2施設が稼働しています。

2022年度のごみ総排出量は25,466 tとなっており、2021年度より減少しています。また、最終処分場における埋立実績は合計で1,163tとなっています。

■リサイクル施設の名称、処理能力等

事業主体	施設名称	処理能力 [t/5h]	竣工年月
宇和島地区広域事務組合	宇和島地区広域事務組合 環境センター	20	2017 年 9 月

■ごみ焼却施設の名称、処理能力等

事業主体	施設名称	処理能力 [t/日]	炉数	竣工年月
宇和島地区広域事務組合	宇和島地区広域事務組合 環境センター	120	2	2017 年 9 月

出典：宇和島市一般廃棄物処理基本計画（2018年4月）

■最終処分場の施設概要

区分	宇和島市一般廃棄物 最終処分場	鉾堀不燃物最終処分場 (休止中)	是能不燃物処理場
建設年月日	保田乙 541 番地	吉田町 河内甲 2371 番地	三間町 是能 1486 番地2
埋立面積	平成4年 11 月	昭和 62 年4月	昭和 55 年4月
埋立容量	21,000 m ³	5,060 m ³	5,300 m ³
埋立構造	132,000 m ³	81,000 m ³	18,550 m ³
埋立地施設	準好気性埋立構造	サンドイッチ埋立方式	サンドイッチ埋立方式
浸出水処理施設	貯留構造物、遮水設備、 雨水・地下排水設備、浸 出水集排水設備	浸出水・雨水・排水設備、 貯留構造物(無沈殿ろ過 槽)	雨水排水施設、汚水集水 施設、汚水処理施設
浸出水処理施設	能力:100 m ³ /日	能力:100 m ³ /日	能力:50 m ³ /日

■ごみの分別の種類と回収方法

ごみの種類	排出方法			
	指定ごみ袋	施設直接持込	集団回収	拠点回収
可燃ごみ	大・中・小	○	—	—
不燃ごみ	大・小	○	—	—
ビンかん	大・小	○	—	—
ペットボトル	大・小	○	—	—
粗大ごみ	—	○	—	—
資源ごみ	—	—	古紙・缶・電池	古紙・電池・蛍光管

■令和4年度ごみ総排出量

区分		直営 [t]	委託 [t]	許可 [t]	直接搬入 [t]	合計 [t]
収 集 分	可燃ごみ	3,038	10,705	6,202	256	20,201
	不燃ごみ	100	316	23	60	499
	資源ごみ	194	604		1,841	2,639
	その他のごみ				19	19
	粗大ごみ			415	384	799
	小計	3,332	11,625	6,640	2,560	24,157
集団回収						1,309
合計						25,466

出典：一般廃棄物処理実態調査

■ごみの総排出量の推移

年度	ごみ総排出量 [t]	一人当たりのごみ排出量 [g/日]	リサイクル率 [%]
2020	26,672	996	22.3
2021	25,899	989	22.0
2022	25,466	992	21.5

出典：一般廃棄物処理実態調査

■最終処分場の埋立実績

年度	宇和島市一般廃棄物 最終処分場	蛇堀不燃物最終処分場 (休止中)	是能不燃物処理場
2022 年度埋立実績	1,129.70 t	0.00 t	33.66 t

出典：宇和島市廃棄物最終処分場 維持管理状況

(3) ごみ減量の推進

各家庭から排出されるごみの減量化と再資源化のため、市役所や公民館などで資源物を回収しています。また、生ごみ処理機等を設置する家庭に対して補助金を交付しています。

■生ごみ処理機等設置費補助の実績

年度	電気式生ごみ処理機 [基]	生ごみ処理容器 [基]	ダンボールコンポスト	
			一式	基材[個]
2020	19	9	0	9
2021	11	9	0	5
2022	10	13	0	0

※ ダンボールコンポスト一式は、ダンボールと基材のセット

■市内の資源物回収拠点（郵便局を除く）

設置場所		蛍光管	乾電池	食用油	紙パック
宇和島地区	市役所	○	○	○	○
	宇和海支所	○	○	○	○
	中央公民館	○	○	○	○
	明倫公民館	○	○	○	○
	鶴島公民館	○	○	○	○
	宇和津公民館	○	○	○	○
	天神公民館	○	○	○	○
	和霊公民館	○	○	○	○
	住吉公民館	○	○	○	○
	高光公民館	○	○	○	○

	番城公民館	○	○	○	○
	祝森公民館	○	○	○	○
	石応公民館	○	○	○	○
	小池公民館	○	○	○	○
	三浦公民館	○	○	○	○
	下波公民館	○	○	○	○
	遊子公民館	○	○	○	○
	蔣淵公民館	○	○	○	○
	番城福社会館	○	○	○	○
	大浦自治会館	○	○		○
	JA蛤出張所	○	○		
	JA九島支所	○	○		
	離島センター	○	○		
吉田地区	吉田支所	○	○	○	○
	奥南公民館	○	○	○	○
	喜佐方公民館	○	○	○	○
	立間公民館	○	○	○	○
	玉津公民館	○	○	○	○
	集会所(全域)		○		
三間地区	三間支所	○	○	○	○
	老人憩の家			○	
津島地区	津島支所	○	○	○	○
	岩松公民館	○	○		
	清満公民館	○	○	○	○
	御槇公民館	○	○	○	○
	畑地公民館	○	○	○	○
	北灘公民館	○	○	○	○
	下灘公民館	○	○	○	○
合計		36箇所	37箇所	32箇所	32箇所

■市内の乾電池回収拠点（郵便局）

宇和海郵便局、宇和島朝日町郵便局、宇和島愛宕町郵便局、宇和島伊吹町郵便局、宇和島駅前郵便局、宇和島大浦郵便局、宇和島九島郵便局、宇和島石応郵便局、宇和島佐伯町郵便局、宇和島高光郵便局、宇和島郵便局、宇和島寄松郵便局、宇和島和霊町郵便局、下波公民館郵便局、三浦郵便局、遊子郵便局、奥南郵便局、立間郵便局、法花津郵便局、吉田郵便局、二名郵便局、三間郵便局、嵐郵便局、北灘郵便局、清満郵便局、津島郵便局、畑地郵便局、御槇郵便局

※宇和島市と日本郵便株式会社との包括連携協定に基づく取り組み

2.8 美化対策・海洋ごみ対策

市内の各地域、職場や各種団体等で実施するボランティア清掃の支援を行っています。また、ポイ捨てや不法投棄の防止、漁業用資材の適正管理など海洋への流出が未然に防げるよう努めています。その他、市主催の清掃活動では各種団体等に呼びかけ、地域の美化に努めています。

■自治会・ボランティア清掃・海岸等清掃の実施状況

年度	自治会・ボランティア清掃の回数		漁業関係者による海岸清掃等
		うち海洋ごみ	
2020	156回	23回	10回
2021	222回	36回	24回
2022	256回	38回	25回

2.9 地球温暖化への取組

(1) 温室効果ガス排出量

本市の2021年度における目標設定施設（調査対象全施設より目標設定外施設を除いた施設）より排出された温室効果ガス排出量は、22,074t-CO₂であり、基準排出量（26,749t-CO₂）に対して4,675t-CO₂（15.0%）減少しています。

■温室効果ガス排出量の状況

年度	温室効果ガス排出量[t-CO ₂]	対基準年度比
2014(基準年)	26,749	—
2018	25,936	-3.1%
2019	26,216	-2.0%
2020	25,805	-3.5%
2021	24,249	-9.3%
2022	22,725	-15.0%
2025(目標値)	24,074	-10%

■温室効果ガス総排出量推移



(2) 行政における再生可能エネルギー、EV等の導入状況

本市では、公共建築物において、現在、三間町総合交流拠点施設（道の駅みま）、吉田中学校、津島中学校、番城小学校、天神小学校、三間中学校、吉田支所・吉田公民館の7施設に再生可能エネルギー設備を導入しています。また、公用車にEV車等の次世代自動車を2台導入しています。

■ 行政における再生可能エネルギー、EV等の導入状況

年度	公共建築物への太陽光発電システム 導入施設数 [施設]	公用EV車両導入台数 (PHEV含む) [台]
2020	7	2
2021	7	2
2022	7	4

(3) 市域の再生可能エネルギー導入状況

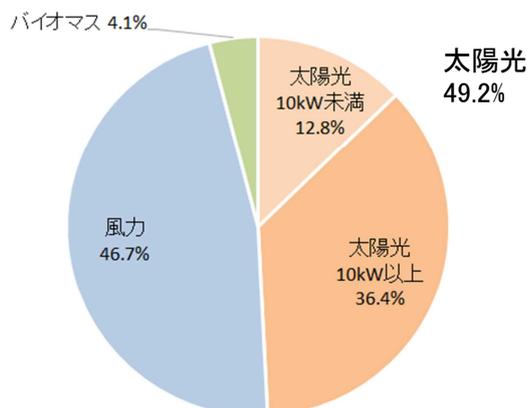
本市における2022年度の再生可能エネルギーによる発電出力は、太陽光が49.2%、風力が46.7%、バイオマスが4.1%となっています。

■ 市域の再生可能エネルギー導入状況

年度	市域の再生可能エネルギー導入状況			
	区分	導入件数 [件]	発電出力 [kW]	割合
2021	太陽光	2,039	29,957	49.2%
	(10kW未満)	(1,581)	(7,749)	(12.8%)
	(10kW以上)	(458)	(22,163)	(36.4%)
	風力	2	28,500	46.7%
	バイオマス	1	2,500	4.1%
	水力	0	0	0%
	合計	2,042	60,957	100%

出典：資源エネルギー庁 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト

■ 市域の再生可能エネルギー導入割合（発電出力）



(4) BDF（バイオディーゼル燃料）の精製・供給

本市では、市の施設や家庭から出る廃食用油（植物性）を回収し、環境にやさしいエネルギー（バイオディーゼル燃料）としてリサイクル利用することにより、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

2021年度の精製量は9,000ℓ、供給量は9,201ℓです。

■バイオディーゼル燃料精製施設の概要

施設名称	施設の所在地	規模 [m ²]	処理能力 [ℓ/7h]	竣工年月
宇和島市バイオディーゼル燃料精製施設	宇和島市曙町1番地 (市庁舎敷地内)	30	200	2015年2月

■バイオディーゼル燃料の精製・供給量

年度	廃食用油回収量 [ℓ]	バイオディーゼル燃料	
		精製量 [ℓ]	供給量 [ℓ]
2020	24,890	9,000	9,124
2021	24,895	9,000	9,201
2022	21,592	9,000	9,114

※供給量は前年度に精製した量を含みます。

■バイオディーゼルを燃料として活用している施設

施設名称	施設の所在地	導入設備等	設置年月
三間町老人憩の家	宇和島市三間町中間 481 番地	BDF ボイラー 出力 233kW(200,000kcl/h)	2012年12月
生活環境課吉田分室	宇和島市吉田町鶴間 1340-1	ダンプ(愛媛 400 す 1754) 最大積載量 2,000kg	2000年10月

■バイオディーゼル燃料の使用実績

年度	BDFボイラー			2tダンプ		
	BDF 使用量 [ℓ]	(A 重油相当) [ℓ]	CO2削減量 [t-CO2]	BDF 使用量 [ℓ]	(軽油相当) [ℓ]	CO2削減量 [t-CO2]
2020	8,800	(8,597)	20.6	324	(337)	0.8
2021	8,800	(8,597)	20.6	401	(417)	1.0
2022	8,980	(8,773)	21.0	134	(139)	0.3

※ 1 発熱量は、BDF38.2MJ/L、A重油39.1MJ/L、軽油36.7MJ/L。

※ 2 排出係数は、BDFボイラーはA重油2.71t-CO2/kL、2 t ダンプは軽油2.58t-CO2/kL。

※ 3 90LのBDF精製時のCO2発生量は27.6kg-CO2 (307kg-CO2/kL)。

(5) 木質バイオマスの活用

本市では、市有施設等から発生する草木の資源化を実施することにより、循環型社会を推進しています。伐倒木は主に薪に加工し、祓川温泉薪ボイラなどでバイオマス燃料として利用し、剪定枝は主に木質チップに加工し、敷料や島しょ部生ごみ処理機用基材として利用しています。

■ 木質バイオマス利用量

年度	区分	木質バイオマス利用量				
		薪(祓川) パレット数	薪(端材) キャリア数	チップ(袋) 袋数	チップ(牧場) 台数	刈草ロール ロール数
2021	実績数量	15	211	66	2	0
	重量換算 (実績より)	4,950 kg	2,110 kg	660 kg	3,240 kg	0 kg

換算方法	330kg/パレット	10kg/キャリア	10kg/袋	1,620kg/台	kg/ロール
------	------------	-----------	--------	-----------	--------

■ 木質バイオマスを燃料として活用している施設

施設名称	施設の所在地	導入施設等	設置年月
祓川温泉	宇和島市津島町禎川 203-1	薪ボイラー 2台 出力 60~75kW (52,000~65,000kcl/h)	2015年3月

■ 木質バイオマスの使用実績

年度	使用量 [m ³]	(重量換算) [t]	(熱量換算) [Mcal]	(灯油相当) [kL]	CO ₂ 削減量 [t-CO ₂]
2020	139	(63.94)	(166,244)	(22)	54.78
2021	101	(46.46)	(120,796)	(16)	39.84
2022	156	(71.76)	(186,576)	(25)	62.25

※1 薪 1 m³あたり460kg (杉含水率40%)。

※2 薪 1 kgあたりの薪ボイラーの出力2.6Mcal。

※3 灯油ボイラーの出力7.4Mcal/L。

※4 灯油のCO₂排出係数は2.49t-CO₂/kL。

2.10 その他

(1) 動物愛護管理事業（狂犬病予防対策）

本市では、狂犬病予防法に基づき、毎年狂犬病予防接種を行っています。また、生後91日以上の犬は登録を行い、鑑札を交付し、愛媛県が実施する犬猫管理業務に対して、受付・抑留を行うことで、地域の安全な生活と動物の愛護事業を推進しています。

■ 犬の登録数及び狂犬病予防注射頭数

年度	登録実頭数 [頭]	狂犬病予防注射頭数 [頭]				
		集合	病院	訪問	その他	計
2021	3,275	852	1,390	0	34	2,276
2022	3,339	797	1,421	0	25	2,243

(2) 環境教育・環境啓発

本市では、子どもから大人まで、市民一人一人の環境への意識やマナー向上を図るため、多様な場での環境学習会の開催や、市民や事業者へ環境についての情報提供や情報の共有化を図るため、市ホームページやSNS等を活用した環境情報発信を実施しています。

■ 環境情報の発信事業

年度	環境情報の発信回数 [回]	内容
2020	22	・FM がいやによる情報発信 22 回
2021	26	・FM がいやによる情報発信 20 回(さすてなライフ) ・広報(7月:フードドライブ、10月:環境にやさしい買い物キャンペーン 及び 食品ロス削減月間、11月:さすてなライフの紹介、12月:中央公民館古紙回収) ・きさいや広場でのフードドライブ(5/14~5/16 開催)
2022	30	・FM がいやによる情報発信 24 回(さすてなライフ) ・広報 4 件(10月:食品ロス削減月間、地域猫、水銀使用製品の窓口回収、環境にやさしい買い物キャンペーン) ・きさいや広場でのフードドライブ(9/30~10/2 開催) ・市政広報番組(リサイクルポストと不要品伝言板)

■ ダンボールコンポスト講習会実績

年度	受講者数 [人]	実施回数 [回]
2020	169	9
2021	10	2
2022	151	12

■ 海洋ごみ対策セミナーの実施

年度	実施日	会場	受講者数 [人]
2022	10月29日	パフィオうわじま	106

■ 海洋ごみパネル展の実施

2022年8月11～14日 パフィオうわじま

2022年9月12～19日 市役所ロビー



■ 環境教材の作成

01 「海洋ごみ」ってなんだろう？

漂着ごみ：海岸にうちあげられたごみ
漂流ごみ：水面・水中に浮いているごみ
海底ごみ：海底に沈んでしまったごみ

写真の中からどんなごみが多いか、僕と一緒に考えてみようにゃん！

宇和島市PRキャラクター 伊瀬にゃんよ

02 宇和海を汚している「海洋プラスチックごみ」

宇和海（南予地域）の特徴
2020年に家業県が行った漂着物の調査では、中予・東予の海岸と比べて、南予の海岸は発泡スチロールやプラスチックがとて多かった。

漂着物(工物)の単位面積あたりの容積

品目	容積 (m³)
発泡スチロール	約 6.0
プラスチック	約 4.0
その他	約 2.0

市内の下波地区では、プラスチックごみの半分(50%)以上を「容器包装」と「製品」が占めていた。

容器包装：ペットボトル、食品容器、ボトルのキャップやふた、レジ袋、お菓子の袋 など

製品：生活雑貨、ライター、ストロー、テープ、おもちゃ など

漁具：発泡スチロールの破片、カキ籠 雑用パイプ、ロープ、ひも、ブイ など

出典：令和2年度愛媛県海洋プラスチックごみ総合調査

04 「海洋プラスチックごみ」はどこから来るの？

陸のごみが海洋ごみになるまで
ポイ捨てや不法投棄で捨てられたごみが、風や雨で川の中に流れ込んでしまい、川を流れて行って海にたどり着くと、海洋ごみになる。

宇和海での海洋ごみの動き
宇和島市を含む愛媛県の南予地方の海岸は、ギザギザに入り組んだ「リアス海岸」。川を下って海に流れ込んだり、黒潮から北上する海流に乗って流れてきた海洋ごみが、湾の中をグルグルと循環し、海岸に漂着したり、海底に沈んでいく。

リアス海岸は、波が穏やかで水深が深く、海藻や養殖に適しているんだにゃん。餌み豊かな宇和海という宝を守るために、みんなで協力して海洋プラスチックごみを減らしていきなさいにゃん！

黒潮(日本海流)

3. 重点施策の目標に対する実施状況

本市の環境の望ましい将来像の実現に向けた基本方針を推進していくための施策のうち、宇和島市において特に重要な施策を重点施策として挙げており、重点施策においては目標を掲げており、目標に対する実施状況は以下のとおりです。

■ 分別の徹底とリサイクルの推進による廃棄物削減

成果指標	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (2026年度)
ごみ総排出量	26,672t	25,899t	25,466t	23,027t
一人当たりのごみ排出量	996g/日	989g/日	992g/日	972g/日
リサイクル率	22.3%	22.0%	21.5%	29.0%

■ 海洋プラスチックごみへの対策

成果指標	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (2026年度)
自治会やボランティア団体による海岸清掃の実施回数	23回/年	36回/年	38回/年	50回/年
漁業者や漁協による海面等清掃の実施	10回/年	24回/年	25回/年	30回/年

■ 食品ロスの削減

成果指標	2020年度	2021年度	2021年度	目標 (2026年度)
食品ロス量	2,443t	調査無し	調査無し	2,150t
食品ロス削減取り組む市民の割合	57.1%	調査無し	調査無し	80.0%

■ 行政における再エネ、省エネ、EV等の率先導入

成果指標	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (2026年度)
公用EV車両導入台数(PHEV含む)	2台	2台	4台	10台
公共建築物への太陽光発電システム導入施設数	7施設	7施設	7施設	13施設
本市事務事業における温室効果ガス排出量	25,805 t-CO2	24,249 t-CO2	22,725 t-CO2	23,807 t-CO2

■ 環境教育・環境啓発

成果指標	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (2026年度)
環境関連の講習会等への参加者数	延べ169人	延べ10人	延べ257人	現状より増加
各種メディア等での環境関連情報の発信	22回	26回	30回	現状より増加

4. 不法投棄・ポイ捨て防止を目的とする児童ポスターコンクールの実施

本市では、小学生の頃から身近な環境課題に関心を持ち、ごみの不法投棄やポイ捨てを「しない・させない」意識の高い大人になることを目指して、ポスターコンクールを実施しています。また、本コンクールにおいて優秀な作品は市役所ロビーへの展示や啓発看板として市内各所に掲示しています。



金賞 吉田小学校 2年 山口華恋 さん



金賞 三浦小学校 4年 小櫻翠 さん



金賞 二名小学校 6年 水野菜和佳 さん

宇和島市環境報告書（2022（令和4）年度版）

発行 / 2024（令和6）年3月
発行者 / 宇和島市 市民環境部 生活環境課
